

11

○ Mon 月曜日

だいひょうてきな きょうかいの モデル

ていこくの せいこう
定刻祈りに成功したらチェックしよう

皿ヨハネ 1:2

あいも のよ。あなたが、たましいに さいわい をえ得ているようにす
べての点でも さいわい を得、また健康であるように祈ります。

香港伝道集会 1 講 / 2010.12.15

かっこうよくて、スマートで背が高い健康なモデルが、堂々と歩くファッションショーを見たことがありますか。良いモデルは、デザイナーが作った服を着て、デザイナーが表現しようと思うことをよく表わさなければなりません。デザイナーも自分の考えが入っている代表的な服をデザインして発表しなければなりません。同じように、すべての物をデザインされた神様が、多くの人の中で、福音を表わすモデルとして私を呼ばれました。もししたら、教会に問題がおきて、経済がむずかしくて、葛藤が多いのでしょうか。しかし、すべての問題を解決されたキリストの唯一性を持ったヨセフのように、私を呼ばれました。たとえヨセフは奴隷として売られて、ぬれぎぬを着せられて、監獄に入ったとしても、絶対に揺れませんでした。結局、神様が代表的に祝福されたので、エジプトの総理になって、家庭と家系と民族を生かしました。福音を伝える代表的な教会と伝道する弟子がたてられる時ごとに、時代と文化が変わって現場が新しくなりました。



みことばの抜けている部分を見つけ

書いて、みことばをおぼえ、聖霊に満たされる奥義を味わいましょう。

<ヘブル人への手紙12章2節のみことば>

信仰の_____であり、完成者である

_____から目を離さないでいなさい。

イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。

ただ聖霊に満たされて新しい力を受けて代表的な教会として立てられた初代教会と迫害の中で揺れずに福音を伝えた初代教会の弟子のように、レムナントのモデルになることができるように導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。

でんどう
みことば
いのり



めざまめよ、レムナント！

定刻祈りに成功したらチェックしよう

イザヤ 6:9~13

そこにはなお、十分の一が残るが、それもまた、焼き払われる。テレビンの木や樫の木が切り倒されるときのように。しかし、その中に切り株がある。聖なるすえこそ、その切り株。(13)
香港伝道集会 3講 / 2010.12.15

トーマス・エジソンは、多くの発明特許を持った有名な発明王です。ところで、小学校に入学して3ヶ月後に学校から追い出される困難を経験しました。しかし、お母さんの祈りとはげまして、あきらめないで最後まで発明と研究に集中しました。その結果、大きい成功をして、金持ちになっただけでなく、りっぱな偉人として世界史に記録されました。

どんな障害物があっても、私がゆれなければよいのです。特別に幼いときの心と考えに根をおろしたことがとても重要です。それで、福音と信仰の根をかたくおろさなければなりません。ヨセフは兄たちに売られて奴隷になったのですが、うらみませんでした。エジプトに送られた神様の計画を発見したので、感謝しながら祈りました。ヨセフのように、世の中に出て行く前にインマヌエルの奥義を味わって、民族のいのちを守り、強大国を福音化するレムナント運動の主人公になりましょう。

<ヤコブの手紙3章 1~12節のみことば>

- 1 私の兄弟たち。多くの者が教師になってはいけません。ご承知のように、私たち教師は、格別きびしいさばきを受けるのです。
- 2 私たちはみな、多くの点で失敗をするものです。もし、ことばで失敗をしない人がいたら、その人は、からだ全体もりっぱに制御できる完全な人です。
- 3 馬を御するために、くつわをその口にかけて、馬のからだ全体を引き回すことができます。
- 4 また、船を見なさい。あのように大きな物が、強い風に押されているときでも、ごく小さなかじによって、かじを取る人の思いどおりの所へ持って行かれるのです。
- 5 同様に、舌も小さな器官ですが、大きなことを言うて誇るのです。ご覧なさい。あのように小さい火があのような大きい森を燃やします。
- 6 舌は火であり、不義の世界です。舌は私たちの器官の一つですが、からだ全体を汚し、人生の車輪を焼き、そしてゲヘナの火によって焼かれます。
- 7 どのような種類の獣も鳥も、はうものも海の生き物も、人類によって制せられるし、すでに制せられています。
- 8 しかし、舌を制御することは、だれにもできません。それは少しもじっとしていない悪であり、死の毒に満ちています。
- 9 私たちは、舌をもって、主であり父である方をほめたたえ、同じ舌をもって、神にかたどって造られた人をのろいます。
- 10 賢美とのろいが同じ口から出て来るのです。私の兄弟たち。このようなことは、あってはなりません。
- 11 泉が甘い水と苦い水を同じ穴からわき上がらせるというようなことがあるでしょうか。
- 12 私の兄弟たち。いちじくの木がオリーブの実をならせたり、ぶどうの木がいちじくの実をならせたりするようなことは、できることでしょうか。塩水が甘い水を出すこともできないことです。

聖霊で私とともにおられ、導いてくださることを本当にありがとうございます。福音を持ったレムナントの考えと言葉を言うことができるように、信仰を回復させてください。そして、未来を征服するレムナントとして育つように助けてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。

モーセの ちからの ひみつ

○ Thu 木曜日

定刻祈りに成功したらチェックしよう

出 3:18~20

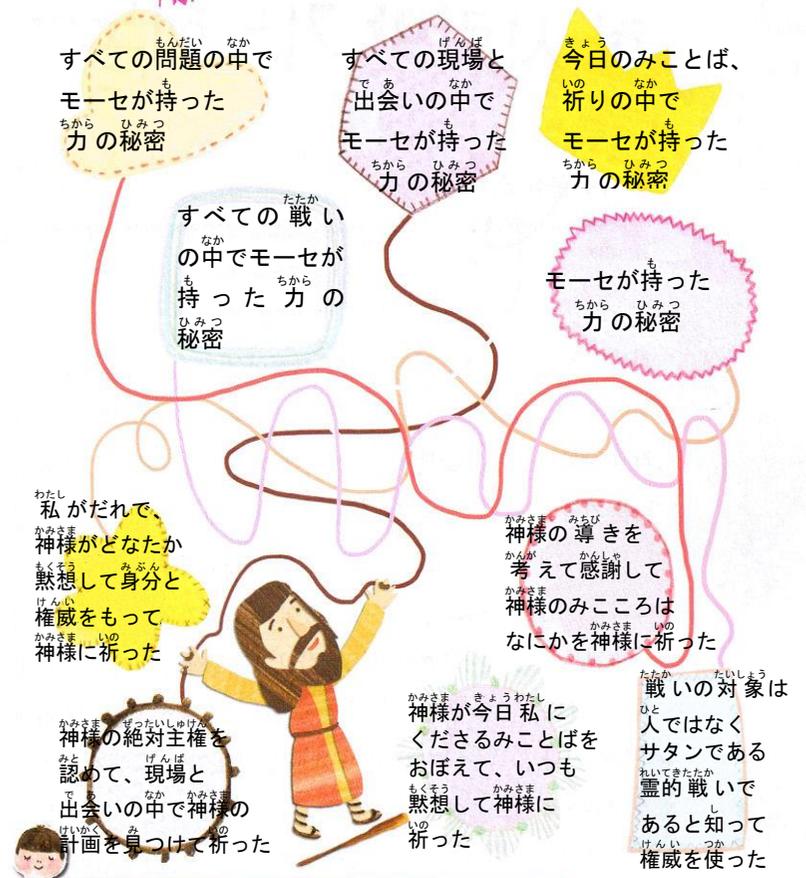
彼らはあなたの声に聞き従おう。あなたはイスラエルの長老たちといっしょにエジプトの王のところに行き、彼に『ヘブル人の神、主が私たちとお会いになりました。どうか今、私たちに荒野へ三日の道のりの旅をさせ、私たちの神、主にいけにえをささげさせてください』と言え。(18) 産業宣教メッセージ/ 2010. 12. 18

レムナント・モーセは、エジプト王の娘だった王女の息子の地位を断りました。エジプトの多くの宝物よりも神様のために苦しみを受けることをもっと喜びました。神様がモーセにどんな力と恵みをくださって福音を正確に伝える民族の指導者で立てられたのかをよく見てみましょう。

最初に、問題の中でも感謝しながら神様の計画を発見して聖霊の導きを受けました。二つ目、人から認められることやなぐさめを求めるより、サタンとの霊的戦いで勝利しました。三つ目、すべての場所と出会いの中で、神様の絶対主権を認めました。四つ目、毎日、神様がくださるみことばをおぼえていつも祈りました。五つ目、みことばの中で私に向かった神様の計画を見つけて、伝道者の生活を実践しました。六つ目、神様がどなたで、自分がだれであるかと、インマヌエルをのがしませんでした。モーセのように神様が与えられる新しい力と恵みをともに味わうレムナントになりましょう。

Kids Prayer Journal

モーセが持っていた力の秘密を見つけて、色別に示されている線をたどってみましょう



神様がくださった福音を正しく味わえるように、恵みをください。王宮でも、ミデヤンでも、荒野の道でもいつも福音の力を味わうレムナント・モーセのように私にも聖霊の満たしの力を注いでください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。

でんどう
みことば
いのり

()	()	()
		合計点
()	()	()

15

Fri 金曜日

ひとりだけでもいのるなら...

定刻祈りに成功したらチェックしよう

I サムエル 3:19~20

サムエルは成長した。主は彼とともにおられ、彼のことは一つも地に落とされなかった。(19)
核心訓練メッセージ/ 2010. 12. 18

神様の恵みの中で生きていたイスラエルの民が、どんどん神様の
みことばから遠ざかりました。信仰の指導者まで、一人、二人ず
つ消えて、それぞれ悪い考えとまちがった判断で、不信仰と墮落
に陥ってしまいました。そのとき、神様は偉大なナジル人であ
るサムエルを準備されました。サムエルは契約を握ったお母さん
ハンナの祈りで、幼いころから神様の神殿でみことばをしたい
ながら民族をリードする預言者として育ちました。伝道者の生活
を實踐して、いつも祈りに努めたサムエルの祈りは一言も地に落
ちないで成就しました。彼によっておどろくべき力と奇跡を
体験したイスラエルの民が神様に悔い改めて立ち返るよう
になりました。私たちが家庭と学校と教会で伝道者の生活を實踐
したら、サムエルと同じ答えを味わうことができます。神様がリ
ードされる今日の伝道、今日くださるみことば、今日答えを受け
る祈りでもっとも幸せな伝道者の生活の中に走っていきましょ
う。

でんどう
みことば
いのり



額縁の中の○の中に自分の写真をはって、伝道者の生活を実践
する自分のすがたをかつこうよく絵でかいてみましょう



自分の姿が
わかる写真を
き切ってはろう



サムエルが神様とともにいる生活をしたときにおどろく力でイスラエルの民を導いたように、私も神様がともにおられる伝道者の生活を實踐することができるように働いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。

16

○ Sat 土曜日

かんが 考えを ただ も 正しく持ちましょう

おはなし黙想3



空^{くう}腹^{ふく}と悲^{かな}しみに疲^{つか}れたある^{ある}青^{せい}年^{ねん}が道^{みち}を歩^{ある}いていました。頭^{あたま}の中^{なか}には、お
腹^{なか}がすいたことをはやくわす^{わす}れたいとい^いう考^{かんが}えだけでした。

「どのようにすれば、お腹^{なか}いっぱい食^たべられるのだろうか。どのように
すれば、悲^{かな}しみから抜^ぬけ出^だせるのか。どのようにすれば、金^{かね}持^もちになるこ
とができるのだろうか」

青^{せい}年^{ねん}は、いろい^いろ考^{かんが}えていて、わけもな^なく、見^みた感^{かん}じが良^よいおじいさん
に、ものごい^いをし始^{はじ}めました。おじいさん^{せいねん}は青^{せいねん}年^{ねん}にだめ^いとは言^いわずに、注^{ちゆう}
意^い深^{ふか}く見^みつめました。

「そうか。お腹^{なか}を満^みたした次^なに、何^{なに}をするのか」

おじいさん^{せいねん}は、すがる^お青^{せいねん}年^{ねん}を起^おこしました。

「食^たべ物^{もの}がなくな^ならない方^{ほう}法^{ほう}を考^{かんが}えてみるべき^{べき}でしょう。どうして^{どう}も
仕^し事^{ごと}を探^{さが}さなければなら^らないで^でしょう」

青^{せいねん}年^{ねん}は自^じ信^{しん}なく答^{こた}えました。

「ちがうね。それはま^まちが^ちいだ。君^{きみ}は働^{はたら}き口^{くち}よりさら^さらに重^{じゆう}要^{よう}なこ^ことを見^み
つけなければなら^らいよ」

「それはなんですか」青^{せいねん}年^{ねん}はあせ^いって言^いいました。

Kids Prayer Journal



かくれている^{かく}絵^えを
さが^{さが}そう
(ヨット、4、せんす
日^ひのかたち、F)

「君^{きみ}の心^{こころ}の中^{なか}には、君^{くん}も知^しらないおどろくほ^ちどの力^{ちから}がある^あるんだ。」
それを見^みつけて、正^{ただ}しくうま^{つか}く使^{つか}うなら^らば、このよ^ようにも^もの^{もの}ご^ごい^いし^しな^なが^がら^ら生^い
き^きな^なく^くも^も良^よい^いの^のだ^だよ」

おじいさん^{せいねん}はその^{ことば}言^の葉^こを^の残^せして、青^{せいねん}年^{ねん}に一^{いち}食^{しよく}分^{ぶん}のお^{かね}金^{かね}を^{わた}渡^{わた}して消^きえ^えま^まし^した。
その^{はなし}話^きを^{せいねん}聞^きいた^{せいねん}青^{せいねん}年^{ねん}は^うショ^{じぶん}ック^{かく}を^{ちから}受^ちけて、自^じ分^{ぶん}に^{さいのう}隠^{かく}さ^みれた^み力^{ちから}と^{さいのう}才^み能^みを見^みつけ
る^たた^ために^{どりよく}努^{ちから}力^{ちから}を^{かれ}尽^{じん}す^{せい}した。なん^かの^か力^{ちから}も^かな^かかつ^たた^た彼^かの^{じんせい}人^{じんせい}生^{せい}は、^{かんが}考^{かんが}え^{ただ}を^{ただ}正^{ただ}しく^{ただ}する
よ^よう^よう^よに^よに^よし^よた^よと^よこ^よろ、^か変^かわ^かる^かよ^よう^よに^よな^なった^なそ^そう^そで^そす。

定^{てい}刻^{こく}祈^{いの}りに成^{せい}功^{こう}したら^{したら}チ^ちェ^えック^くし^しよ^よう

